

新機種評価「スマスロ うしおととら白面決戦」

今回の注目機種は、大一商会グループのアイドル製スマスロ機『スマスロうしおととら白面決戦』を取り上げたい。同機は何度も遊技機として登場している人気版権「うしおととら」とのタイアップ最新機種で、コイン単価をやや抑えつつ、高い出玉性能を持つ「中単価×高MY単価」が特徴の「高継続 ST」機である。昨今、やや金銭負担の重い「高単価×高射幸」のスマスロ機が多数登場している中、「遊びやすさ」と「期待の持てる出玉の大きさ」を両立させたそのゲーム性に注目だ。なお同機の目標販売台数は4000台と競合店との差異化も図れる可能性が高く、納品日は4月上旬が予定されている。

同機の主なスペック性能は「ベース約33G・コイン単価約3.3円・MY3,600」であり、前述通り、比較的期待の持てるコイン単価とMY値となっている。また、AT確率は設定1で1/397.3と同時期に登場予定の『スマスロマギアレコード』よりも軽く、ユーザーも「チャンスが掴みやすい」という印象を感じてくれるはずだ。

ゲームフローは通常からCZ経由でメインATに、そこから上位AT・STへ、という流れになるが、ポイントは「リプ・リプ・ベル」のチャンス目“妖目(あやかしめ)”の存在だ。通常時・CZ・ST・ボーナス・特化ゾーン・引き戻しと、全ての状態で好機を呼び、連続するほど恩恵がアップするという仕様。ユーザー目線で考えても非常にわかりやすく、叩きどころがハッキリしている点も特徴的である。なお、この“妖目(あやかしめ)”出現確率は約1/6.9となっている。

メインAT「うしとらBONUS」のゲーム数は20~300G、純増約5.0枚/Gで、妖目とレア役でストックのチャンス、その後STはゲーム数30G、純増約1.2枚/Gバトルメーターを貯め、1~9GのST「妖ジャッジメント」で再びボーナスを目指す。継続期待度は70%以上だ。

また上位AT「極限ループ」も同機の見どころの一つで、AT3連・6連・9連で突入チャンスが発生する。「自力でベルを揃えることが出来れば突入する」という分かりやすさで、ユーザーがゲームを継続する目安・目標となるだろう。その他にも上位ATに突入する契機は存在し、この上位AT「極限ループ」、継続期待度81%以上の大量出玉獲得チャンスゾーンとなので是非、お店で実機を打って体感して欲しい。

なお同機は6号機のヒット機種『スマスロ甲鉄城のカバナリ』のゲーム性と親和性が高く、まさに「上位互換機」としてふさわしい機種と思われる。是非、他店との差異化・差別化はもちろん、今後の主力機の育成という位置づけで、運用に注力してもらいたい機種である。

以上